

参考資料

(本書は米国時間 2018 年 4 月 2 日に米国で発表済みの英文プレスリリースの和訳です。
解釈に相違が生じた際には、英語版を基準とします)

2018 年 4 月 2 日

Aflac Incorporated は アフラック日本支店の子会社化の完了を発表

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、アフラック日本支店の子会社化(会社名:アフラック生命保険株式会社)が完了し、この子会社がアフラック日本支店の事業を継承したことを発表しました。この取引の一環として、当社はまた、米国完全子会社(会社名:Aflac Holdings LLC)を設立し、同社が日本子会社であるアフラック生命保険株式会社の親会社となっています。

この発表について、当社の会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。「私は、当社がアフラック日本支店の子会社化を予定通り、かつ予算の範囲内で完了したことを大変喜ばしく思っています。新たな企業形態は、より広く認められたグローバルな規制の枠組みに即したものであり、財務及び事業の柔軟性を高めるものです。特に、キャッシュ・フローと資本管理の透明性及び可視性を高めます。また、この新たな企業形態は、当社の現在の財務力格付け及び統合的なリスク管理の枠組みに一致するよう構築されました」

アフラック生命保険株式会社の代表取締役社長に就任した古出眞敏も次のように述べています。「アフラック日本支店の子会社化は、日本のご契約者のお役に立ちたいというアフラックの長期的なコミットメントを再確認するものです。この企業形態が、アフラックをグローバルな規制の潮流に即したものとし、また日本における長期的な成功を継続させるための礎を築くことを、喜ばしく思っています」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60 年以上にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では、職域における任意加入保険販売 No.1 の会社であり、先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを 1 営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4 世帯に 1 世帯がアフラックの保険に加入しています。アフラックの保険は、世界で 5,000 万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は、12 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2018 年、『フォーチュン』誌は、当社を 20 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、2018 年には、17 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出しています。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は aflac.com/espanol をご覧ください。

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述 (forward-looking statement) として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するように奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会 (SEC) に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」「見通し」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が随時言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- 世界資本市場及び経済の困難な状況
- 重要な金利リスクに対するエクスポージャー
- 日本に対する事業の集中
- 円/ドル為替レートの変動
- 日本支店の法的な子会社への変更の実行の失敗
- 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- 情報システムの開発・改善を継続する能力
- 金融市場の安定化を目指す政府の行為
- 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- 保険業界における継続的な変化
- 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- 投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- 優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- 他の金融機関の信用力の低下
- 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- 運用資産の評価に適用される異なる判断

- 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、戦争あるいはその他の軍事行動、テロ行為あるいはその他の暴力行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- 訴訟の内容及び結果
- 内部統制又はコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗